

フィブロック冷媒管用

一巻きするだけの簡単な作業でスピーディに施工が完了!

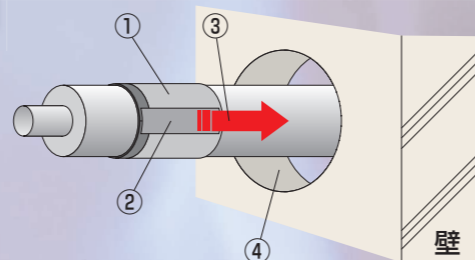


壁・床どちらにでも使えます。

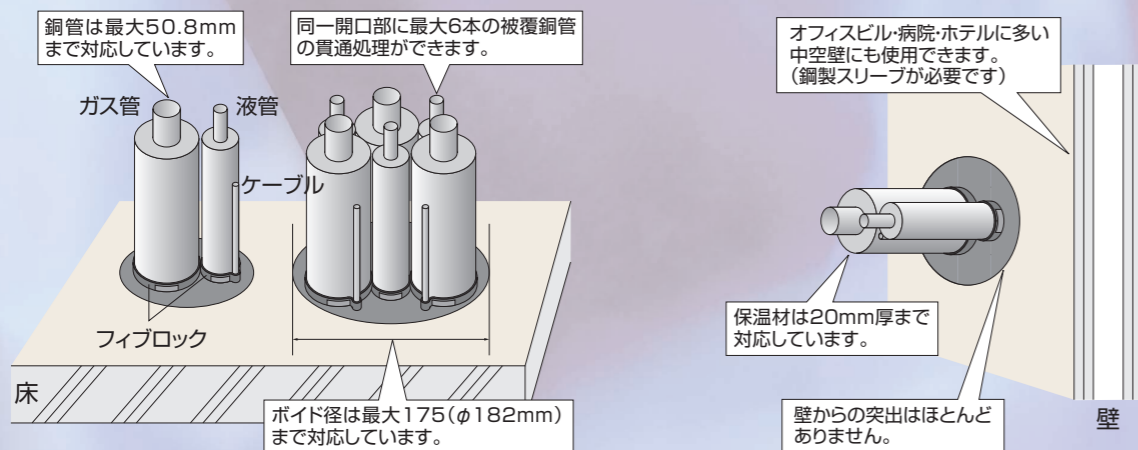
1種類の製品で、各種配管サイズに対応できます。

簡単施工!

- ①フィブロックを巻き付けます。
- ②市販の粘着テープで止めつけます。
- ③フィブロックを貫通部にスライドします。
- ④ロックウール又はモルタルで埋め戻して完了です。



設計の幅が広がる!



フィブロック冷媒管用の適用範囲

- 用途 / 空調設備配管
- 貫通開口寸法、ポイド径175(φ182mm)以下

<1開口部に2本以下の被覆銅管が貫通する場合>

●適用場所、国土交通大臣認定番号

適用場所	材料	厚さ	国土交通大臣認定番号
壁	ALC、コンクリート	100mm以上	PS060WL-0131
	中空壁※		PS060WL-0130
床	ALC	100mm以上	PS060FL-0129
	コンクリート	70mm以上	

※国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)および耐火構造(60分)の壁

<1開口部に3~6本の被覆銅管が貫通する場合>

●適用場所、国土交通大臣認定番号

適用場所	材料	厚さ	国土交通大臣認定番号
壁	ALC、コンクリート	100mm以上	PS060WL-0196
	中空壁※		
床	ALC、コンクリート		PS060FL-0185

※国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)および耐火構造(60分)の壁

※本製品は(一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんのでマンション等の共住区画の貫通部にはお使いいただけません。

●適用管種、占積率

種類	スペック	本数
被覆銅管 (保温材厚20mm以下)	銅管外径50.80mm以下	各1本以下
	銅管外径25.40mm以下	
ケーブル	3.5mm ² ×4C(導体総断面積14mm ²)以下	
占積率	40.0%以下(φ182以下)、44.2%以下(φ158以下)	

●適用管種、占積率

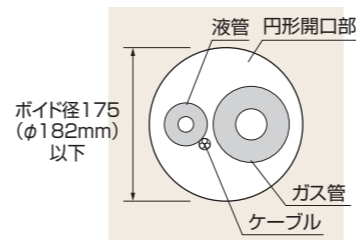
種類	スペック	本数
被覆銅管 (保温材厚20mm以下)	銅管外径38.10mm以下	3本以下
	銅管外径19.05mm以下	3本以下
ケーブル	3.5mm ² ×4C(導体総断面積14mm ²)以下	6本以下
占積率	51.5%以下	

フィブロック冷媒管用の仕様

品名	品番	厚さ	幅	巻長さ
フィブロック冷媒管用	TCEZ001	4mm	120mm	1.2m

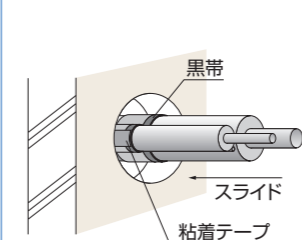
標準施工方法：ALC・コンクリート壁/中空壁の場合

1.開口部の設置



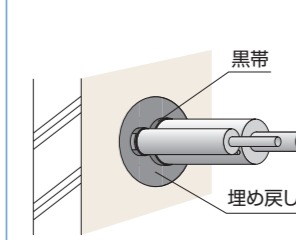
※中空壁の場合は、鋼製スリーブを設置します。

2.片側の蓋(受け材)設置 3.フィブロックの巻き付け

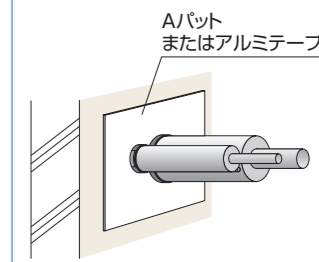


※ガス管は単独で1巻き、液管とケーブル線はセットで1巻きにしてください。

4.ロックウール(モルタル)充填

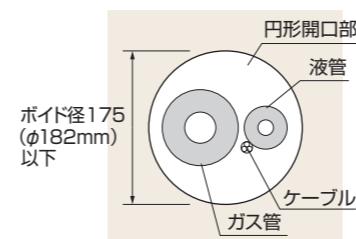


5.蓋の設置

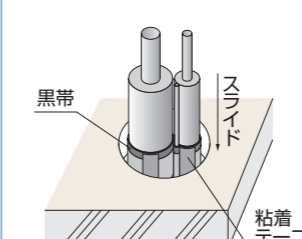


標準施工方法：床の場合

1.開口部の設置

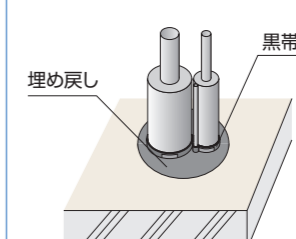


2.床下側の蓋(受け材)設置 3.フィブロックの巻き付け

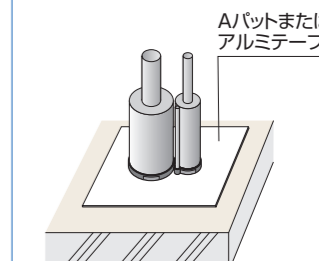


※ガス管は単独で1巻き、液管とケーブル線はセットで1巻きにしてください。

4.ロックウール(モルタル)充填



5.床上側の蓋の設置



フィブロック1巻きあたりで施工できる箇所数の目安

●1開口部に2本の被覆銅管が貫通する場合(保温材厚:ガス管10mm、液管10mm)

	ガス管	液管	箇所数
配管の組合わせ例1	φ28.58	φ15.88	3箇所
配管の組合わせ例2	φ50.80	φ25.40	2.5箇所

●1開口部に3本の被覆銅管(3管式)が貫通する場合(保温材厚:ガス管10mm、液管10mm)

	吸入ガス管	吐出しガス管	液管	箇所数
配管の組合わせ例1	φ19.05	φ15.88	φ9.52	2.5箇所
配管の組合わせ例2	φ38.10	φ31.75	φ19.05	2箇所

※必要巻数の計算方法につきましてはP14の計算方法をご確認ください。